

3. NPO運営支援・基盤整備事業

— 市民活動団体の人材育成、活動支援、相談助言、仲介、調査研究を総合的に展開

NPO運営支援・基盤整備事業は、① NPO・社会起業家のインキュベーション&マネジメントの相談・研修、② 支援者とNPOの連携支援、③ NPOの情報提供、④ 自治体のNPO関連施策・協働推進支援、⑤ NPO推進機関への支援とネットワーク推進、⑥ NPOの税・法制度改革や会計基準策定に対する取り組み、の6つの柱で整理できる。

特に2010年度は、大阪市NPO講座受託における新規メニューの開発や会計基準の普及活動などに力を注いだ。

1. NPO・社会起業家のインキュベーション&マネジメントの相談・研修

(1) NPOの運営などの相談対応

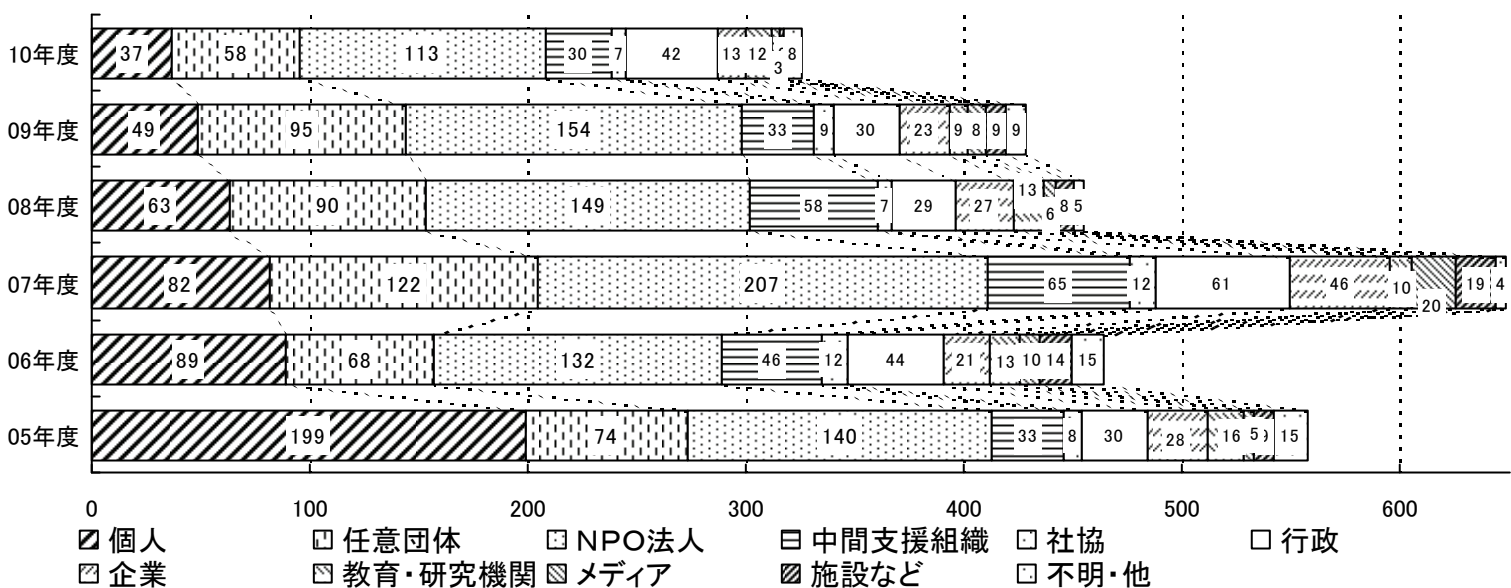
市民活動団体の運営支援に関しては、「NPOとは？」という概論的な質問から「特定非営利活動法人の設立や運営の方法について」という組織化や経営に関する相談、団体の「ミッション」の確認やビジョンに沿った事業計画の立案、運営実務など、さまざまな相談に応じている。近年、全体的にNPO運営や設立に関する初歩的な相談は減少傾向にあるが、初歩的な内容や一般的な内容の相談の場合は、NPOの設立や運営に関する講座に参加する人も多くなっていることや、NPOの運営に関する書籍などが市販されていることの影響もあると考えられる。

① 相談受付件数と相談者の内訳

2010年度、市民活動運営に関する相談は325件である。(うちパートナー登録団体からの相談は35件)ここ数年の傾向であるが、10年度も受付件数は減少している(前年度比で103件の減少)。特徴として、行政機関からの件数が相対的に増えていることが挙げられる。(図3-1)

相談件数は減少しているが、相談者と直接の面談による対応の割合は増加。協会に寄せられた全相談件数のうち、149件は面談による対応、143件は電話など面談以外による対応でほぼ半々の割合であった。それに対し、09年度は面談が39件、電話など面談以外は384件と、ほとんど電話による対応を行っている。したがって、10年度では受け付けた相談の件数は少ないものの、1件ずつ丁寧な対応を行っていたことが分かる。相談者の特徴としては、行政機関からの相談が相対的に多いことが挙げられる。

図3-1 市民活動団体の運営支援に関する相談者の属性(10年度 N=325)



② 相談内容

主な相談の内容は、「NPOとは何か」という基本的概念に関する問合せから「NPOの設立・運営実務」に関すること、「こんな活動をしているNPOを探している」「NPOとの協働を模索」といった相談まで幅広い。以下にこれまでの相談内容の推移(図3-2)と2010年度に受けた相談内容の詳細(図3-3)を図で示す。

10年度の特徴として団体照会など、特定団体の活動状況についての問合せなども目立ったが、09年度と同じく、NPOとの連携など協会のネットワーク性を生かした相談対応をしている。また協会のNPO支援にかかる事

業についての問合せなど、協会の取り組む事業についての問合せなども比較的多かった。なお協会の主催する講座(はじめてのNPO説明会など)でも簡単な相談を受けているが、その対応件数はここに計上していない。

図3-2 市民活動団体の運営支援に関する相談内容内訳の推移(10年度N=325)

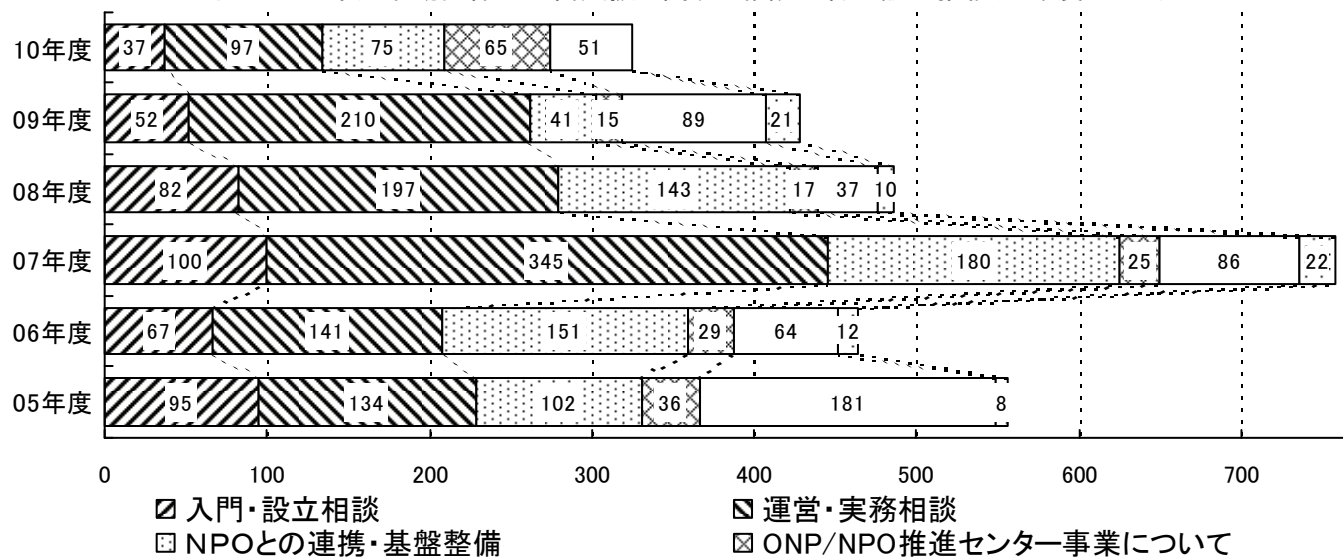
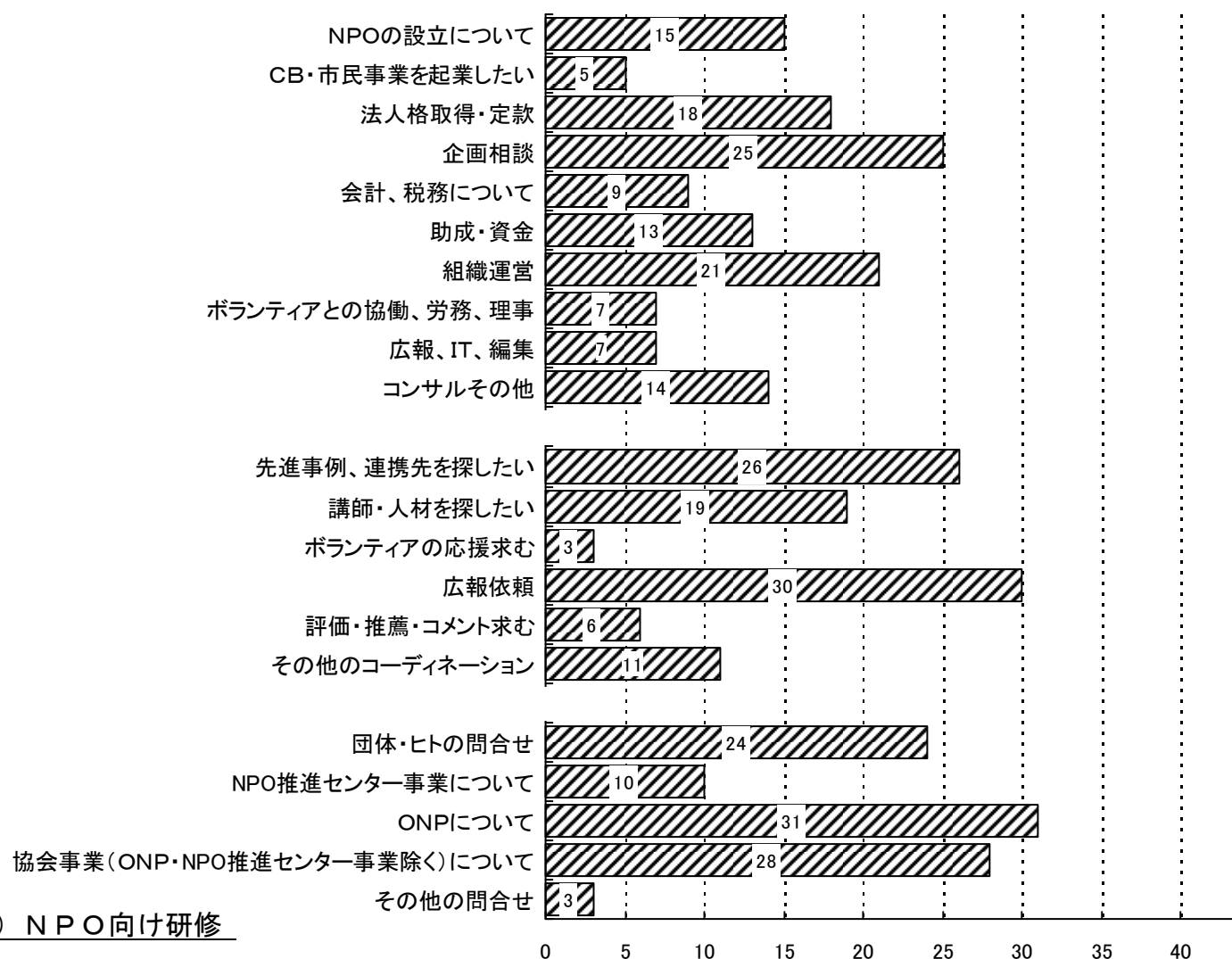


図3-3 市民活動団体の運営支援に関する相談内容 N=325



(2) NPO向け研修

個別の相談対応に加え、説明会や研修会も実施した。下記の研修は、第2章で詳細を報告している。

<NPO入門研修> [大阪府共同募金会の配分金を一部活用]

- ① はじめてのNPO説明会(年5回:6月からの偶数月、第1土曜日)
- ② NPO法人の組織のきほんを考える説明会(年5回:6月からの偶数月、第1土曜日)

<NPO運営研修>

① NPOやボランティアグループのための「ガバナンス」「企画」「運営」「広報」スキルアップ研修【大阪市受託事業】

NPOの運営に必要な「ガバナンス」「企画」「運営」「広報」をテーマに講座を開催。運営にさらに磨きをかけ

たい活動実践者などが参加した。詳細は2章で報告。

②「ファンドレイジング研究会 in 大阪」および「ファンドレイジングセミナー in 大阪」の開催協力

日本ファンドレイジング協会が主催する「ファンドレイジング研究会」および「ファンドレイジングセミナー」の大阪版の開催にあたって、広報や当日運営などの開催協力を行った。詳細は2章で報告。

③NPO法・税会計関西地域学習会【新規】

NPO法の改正に向けた動きを作るため、税制度連絡会の地域学習会の一環として関西地域において実施。

④NPO法人会計基準導入に向けてのNPO会計基準セミナー【新規】

NPO会計基準が策定されたことを記念して、その普及のための学習会第1弾を実施。詳細は2章で報告。

(3) 市民活動サロン「遊学亭 (ゆうがくてい)」の開催 (共催：市民活動プロデューサー協会) [共募配分金活用事業]

毎回異なる「亭主」(コーディネーター)の進行で、亭主自身が注目している市民活動家を招いたサロン。詳細は2章で報告。

(4) NPO支援専門家関係の研究学習会

① 関西NPO会計税務研究会の取り組み

NPOの会計税務専門家ネットワークの有志が集まり、近畿税理士会と協力して相談会と説明会を実施。

② NPO法人会計基準協議会への参画 (本章第6節で報告)

(5) 「NPO経営」などに関する講師派遣

2010年度、NPOをテーマとした講師派遣件数は、行政とNPOとの協働方策やコミュニティ・ビジネスに関する講師派遣も含めて124件(2009年度は135件)となり、やや減少した。

2. 支援者とNPOの連携支援事業

NPO推進センターでは、支援者とNPOとのつながりを築くコーディネーションを進めるため「パートナー登録制度(略称「P登録」、年度登録料=10,000円)」を運営している。

(1) 「パートナー登録」83団体

「パートナー登録」は支援者の信頼に応えられる事業や活動の推進、ネットワーク形成を目指して、協会や支援者をつながりたいと考える団体を対象としている。パートナー登録団体には、個別コーディネーションの他に、

- ・パートナー登録団体限定のメーリングリストを運営
- ・パートナー登録団体の団体概要を協会ホームページで紹介
- ・市民活動総合情報誌『Volo (ウォロ)』、会員限定通信「THE ボラ協」の送付などを行っている。

パートナー登録の団体情報は以下のとおりである(2011年4月現在)。このうち2010年度中に新規登録した団体は6団体であった(うち2団体は下半期より登録)。

団体名	所在地	代表者	活動内容
特活) アジア子供支援 フジワーク基金	高槻市	白石俊廣	戦争や貧困、家庭環境など様々な事情で困難な状況に置かれている子供たちの健全な育成と社会教育の推進。
特活) いきいき会	高槻市	坂田朱美	食事づくりが困難な高齢者や障害者へ配食サービス、安否確認を実施し、自立を支援。
特活) いばらき市民活動 推進ネット	茨木市	奈良平典子	「市民活動センター」の管理運営と受託事業。
特活) インターナショナル	箕面市	菊池信孝	食の多文化共生を目指し、食材ピクトグラムの開発・普及事業と、各種研修・講演・授業を提供しています。
特活) インドマイトリの会	大阪市	水野梅秀	1992年から、北インド・クシナガラで子どもの教育支援活動に取り組む。
AA関西セントラル・ オフィス	大阪市	代表者 お か ず	アルコール依存症者のセルフヘルプグループ”Alcoholics Anonymous”関西サービスセンター。
特活) エス・アイ協会	大阪市	摺木利幸	現代社の社会課題の解決に向けて、「全ての人を包み込む」まちづくりを実現するため活動している。

特活) NPO子どもネットワークセンター天気村	草津市	山田貴子	「地球が遊び場だ！」をキャッチフレーズに子どもの自然体験活動・地域づくり・地域の子育て支援などの活動に取り組む
特活) エヌ・ピー・オー みなと	大阪市	大和田幸治	天然温泉施設の活用で、高齢者、社会的弱者の社会参加を促進する。シニアパーティ、笑いと文化の提供など
特活) エフ・エー	大阪市	中川喜代子	住民同士の助け合い活動(有償活動)を中心に、地域に根ざした活動を展開。サロン活動、ホームヘルパー派遣、社会教育事業など。
特活) えんばわめんと 堺/ES	堺市	北野真由美	子どもの人権が尊重され、子どももおとなも自分らしく安心して生きることが出来る地域社会づくりをめざす。
應典院寺町倶楽部	大阪市	西島 宏	應典院(寺院)を利用した活動を通じ「こころの文化」の創造・発信をめざす。コモンズフェスタ、講演会、芸術祭など開催。
特活) おおさか行動する 障害者応援センター	大阪市	佐々木康至	障害者の外出・生活介助、イベント交流活動など。
特活) 大阪市難聴者・ 中途失聴者協会	大阪市	宇田二三子	難聴者の社会参加促進、親睦と交流を迫る。難聴者の相互交流事業、要約筆記奉仕員養成事業の実施。
特活) 大阪スタタリング プロジェクト	藤井寺市	東野晃之	吃音児者の問題解決の貢献を目指す。大阪吃音教室やワークショップなど開催。
大阪セルフヘルプ支援 センター	大阪市	松田博幸	様々な課題を抱える当事者同士が出会う橋渡し。毎月第1・3土曜日午後、協会に相談事務局開設。
特活) NPO大阪精神医療 人権センター	大阪市	里見和夫	【新規】大阪府内において、精神科医療および社会生活における精神障害者の人権を擁護する活動を行う。
大阪帆船と国際交流の会 (SAIL '0')	尼崎市	井堀眞司	帆船歓迎や国際交流行事の実施協力、参加。1997年の大阪帆船レースのボランティアで結成。
大阪筆記通訳グループ 「ぎんなん」	大阪市	田辺孝子	聴力障害者との交流親睦を深め要約筆記の技術向上を目指す。要約筆記、講習会協力など
特活) 大阪府高齢者大学校	大阪市	長井美知夫	現在、シニア向け講座を12学科運営している。来年はさらに増設を計画。
おんなの目で大阪の街を 創る会	大阪市	小山琴子	すべての人にやさしいまちづくりを利用者の立場からバリアフリーの視点で考え、調査、研究、提案する。
特活) 介護保険市民 オンブズマン機構・大阪	大阪市	岡本祐三	介護保険事業者の質向上と利用者の満足度を高めるため、市民オンブズマンの養成・派遣など。
特活) 関西NGO協議会	大阪市	藤野達也	市民の国際協力への理解を深めるとともに、国際協力NGOネットワーク化、能力強化活動などを行う。
特活) 環境情報 ステーションpico	大阪市	大林 輝	環境問題解決のため、一般市民への情報提供を行うとともに、NPO、行政企業研究者のネットワークを作る。
特活) 関西骨髄バンク 推進協会	大阪市	正岡 徹	骨髄バンク事業の理解促進を図るため、講演会やドナー登録会を実施するほか、血液難病患者の支援を行う。
特活) 関西こども文化協会	大阪市	松浦善満	「子どもの権利条約」の推進や次世代育成支援に関する事業、教育・子育てに関する調査・研究、情報誌の発行など。
特活) 如月会	和泉市	竹内俊雄	障害福祉サービス事業、介護保険訪問介護事業、地域生活支援事業。
特活) 北河内ボランティア センター	枚方市	里見公利	ボランティア活動の推進に向け、ボランティアコーディネーター事業、セミナーの開催、情報誌の発行等を行う。
特活) CAPセンター・Japan	西宮市	側垣一也	【新規】CAPプログラムの普及を通じて、子どもへのあらゆる暴力を許さない社会を創ることをめざしている。
きんきビジョン・サポート	大阪市	堀康次郎	視覚障害者や家族のQOL向上のため、関係するさまざまな分野の有志が集い、ユニークな活動を展開中。
くつろぎステーション つばさ	大阪市	江頭雅史	将来を模索する主に20代の者及びその関係者に対し、関連機関と連携をするなど総合的に援助。
特活) 高齢者外出介助の会	大阪市	永井佳子	在宅での孤立化やとじこもりを防ぐため、高齢者の外出介助に向け、そのコーディネーターと実際の援助を行う
特活) 国際交流の会 とよなか(TIFA)	豊中市	葛西美紗	在住外国人の生活支援、地域の国際理解推進、身近な国際交流、ネパール等での海外協力に取り組む。
特活) 国際子ども権利 センター	大阪市	甲斐田万智子	子どもの権利条約の理念に基づき南の子ども支援、開発教育を行い、又国内に子どもの権利を普及し、生き生きと子どもの育つ社会を目指す。
特活) 心のサポート ステーション	大阪市	宮本由起代	性別・年齢・地位・人種にかかわらず、ひとり一人が尊重され、「自分」として生きることが出来る社会づくり。
特活) ごみゼロネット大阪	大阪市	惣宇利紀男	【新規】モットーはごみの減量から暮らしを見直す。市民協働・ゼロウェスト・3Rの推進をキーワードに活動推進。
特活) コミュニティ エンパワメント東大阪	東大阪市	千葉 武	あらゆるNPOの中間支援をめざした活動と、協働のまちづくりに向けたネットワーク活動を展開中。

特活) SEAN	高槻市	小川真知子	だれもが大切にされる社会の実現を目指し、自立支援・啓発・調査研究事業等を実施する。
特活) シニア自然大学校	大阪市	齊藤 隆	自然環境保全・地球環境・子ども・地域のための普及啓発、調査研究、政策企画提案、自然活動リーダー養成、講師派遣を行う
特活) 市民活動フォーラム みのお	箕面市	直田春夫	箕面市周辺の市民活動を支援。市民活動センターの運営、政策提言、啓発活動等を行い魅力的な地域社会創造をめざす。
市民活動プロデューサー 協会	大阪市	稲原珠実	市民活動を立ち上げ活動するリーダー(市民活動プロデューサー)の養成と、協働プロセス支援を行っている
特活) 住宅総合研究所	大阪市	高原 進	マンションの維持管理に関する調査研究と提案、管理組合への支援対応等を行う。
手話サークル「つくし」	大阪市	細溝美和子	手話の技術取得、聴覚障害者の情報保障の大切さを理解。年1度、協会の協力を得て手話講習会実施。
特活) しんぐるまざあず・ ふおーらむ・関西	大阪市	神原文子	母子家庭当事者団体として20年の実績を持つ。情報交換活動をはじめ就労支援にもとり組んでいる。
特活) シンフォニー	尼崎市	山崎 勲	自然と社会の調和と共生のまちづくりの推進、魅力あるコミュニティの創造に寄与。芸術文化支援、IT支援、就業支援、福祉従事者支援、NO支援等。
特活) 新森清水学童クラブ	大阪市	立花あずさ	共働き、母子、父子家庭の児童のために放課後学童保育を実施。長期保育、短期保育。
特活) すいた市民活動を 活発にする会	吹田市	横山正和	主に吹田市の市民活動の自立促進、相互連携等をサポート。また行政・事業者と市民の協働推進を支援。
特活) ストレス カウンセリング・センター	大阪市	前川哲治	心理カウンセラーを中心に、閉じこもり問題や出社拒否などのストレス問題解決のための相談対応や講習会他を行う。
特活) 住まいみまもりたい	大東市	吉村悦子	粗大ごみの処分仕方や捨てるのがもったいないなどの相談を受ける。使える物は地域資源として有効利用しごみの削減活動に取り組む。
特活) 生活ネットワーク 「虹」	吹田市	中西修子	家事援助・身体介護等のサービス事業や障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス等事業、デイサービス事業を行う。
特活) せかんど	堺市	松上達史	高齢者・障害者に対して福祉サービス、介護保険事業(訪問介護・訪問入浴・通所介護・ケアプランの作成・通院介護・訪問看護)を行う。
高槻市市民公益活動 サポートセンター	高槻市	山本洋子	公益事業・活動を積極的に支援し、NPO、行政、市民組織間の調整に努め、NPOの啓発と振興に努める。
NPO法人たかつき 市民活動ネットワーク	高槻市	鍵谷誠一	市民・市民活動団体・事業者・行政が協働していくことができる住み良い市民社会づくりに寄与する。
特活) 高槻の高齢社会を よくなる会	高槻市	山本洋子	高齢者が在宅で安心して暮らすために必要な支援(介護事業、生活支援、講演会等)他団体等と協働し認知症の人と家族を支えるネットワークづくり。
特活) 高槻まごころ	高槻市	芦谷原外美子	心と生活の面における高齢者問題に対し、多世代が触れ合うサロン事業、在宅介護、啓発、相談等の支援事業を行う。
旅のボランティア グループ「ぬくもり」	河内長野市	安武慎作	障害者や高齢者の旅の援助を目的とする。介助員派遣・育成。旅行会社のバリアフリー企画への助言など。
特活) 多文化共生センター 大阪	大阪市	田村太郎	国籍等のちがいを認め、互いを尊重する「多文化共生」のため、在住外国人と日本人双方に事業展開。
特活) CHARM	大阪市	藤山佳秀	日本の暮らす外国籍住民へのHIV等に関する多言語の情報の支援とHIV陽性者の地域支援を行っている。
手づくり楽器の森	高槻市	高玉 要	【新規】子どもたちと手づくりで楽器を作り、演奏を楽しむ活動をしている。
特活) トウギャザー	大阪市	中條 桂	障がい者の自立と社会参加を啓発・販売・住環境コーディネート就労支援事業の4つの活動で支援。
特活) ななクラブ	寝屋川市	泉いづみ	地域の栄養士が中心となって地域の皆さんが生涯を通じて食の自立ができるように支援している。
特活) 日常生活支援 ネットワーク	大阪市	柿久保浩次	身体障害者が地域であたりまえの生活ができるよう介護者派遣、移送サービス・介助者研修を実施し、自立と社会参加を支援する。
日本宇宙少年団 アトランティス分団	西宮市	土畑 伸一	青少年に宇宙及び科学への探究心と向上心を促し、平和な国際社会構築に貢献できる人材を養成する
にほんごサポート ひまわり会	大阪市	斎藤裕子	大阪市平野区で、外国から来た人が日本語を学習したり日本語で会話をする際のサポートをしている。
特活) 日本病院 ボランティア協会	大阪市	信田禮子	病院や施設に来院、来所する人々に安らぎを与える病院ボランティアの発展・推進のための活動。
特活) ぬくもり	河内長野市	鬼頭大助	障害者や高齢者へ日常生活から旅行に至るまでの総合的支援を行い、すべての人が自分らしく生きる社会を目指す。
特活) 寝屋川あいの会	寝屋川市	三和 清明	地域住民の助け合いの精神のもと、高齢者・子育て・まちづくり支援などを行う。他に寝屋川市受託事業推進。

寝屋川市民 たすけあいの会	寝屋川市	森川加代	「寝屋川ボランティアビューロー」と「地域生活支援センター」を拠点に、市民による地域活動、ボランティア活動の推進を行う。
特活) ノウハウ会	大阪市	石毛 浩	高齢者が培ってきたノウハウ、スキルをもちより、活用の場を開拓、提供し、高齢化社会の活性化をめざす。
特活) パーソナル・アシスタンスネット・東住吉	大阪市	花岡菊江	新たな資源確保(不用品の中から)に取り組んでいる。給湯器、非鉄金属に限り買い取り可能。
特活) ひらかた市民活動 支援センター	枚方市	植田奈央美	市民活動の面から共に生きる「わ」を広げ、よりよい市民社会の実現を目指し、市民活動の支援を行う。
特活) プールボランティア	大阪市	岡崎 寛	障害者・私たちは、障害者も高齢者と一緒に水を楽しむ活動を続け、プールに行ける社会の実現を目指しています!
特活) フェリスモンテ	大阪市	山王丸由紀子	高齢者が自分らしく暮らせる地域づくりを目指しサロンや介護保険事業、配食サービスを行う。目標のグループハウスを2004年秋に開設。
社福) 福祉ネット大和川	大阪市	久田幾代	障害者の地域自立支援を図るため、障害者の地域生活に関する事業の実施及び障害者援助団体や当事者の会の団体支援を行う。
ベアレット病友の会 大阪府支部	大阪市	米山 哮	【新規】主に患者の不安にこたえる相談、学習活動、及び患者同士の情報交換、交流の機会を提供する等、ベアレット病患者のサポートをしている。
特活) 訪問理美容 サービス・ドリーム	高槻市	吉村幸重	要介護者や施設、知的障害児、身体の不自由な方々を対象に訪問理美容を行っている。
特活) ほのぼの ステーション	堺市	中司順子	地域の方を交えてのイベント参加型研修を企画、開催し地域に根づいた活動をしている。
特活) ホピワール子ども 基金L・D・Hクラブ	守口市	西 和夫	文化・音楽・芸術を通じて子どもの能力開発をめざす。芸術鑑賞、セミナー健康指導等。
特活) みどり大阪	大阪市	三宅英隆	【新規】大阪府下の森林で池の復興やビオトープ作り、また北タイなどで植林ツアーの実施、森林の中で農産物の栽培など国内外で活動を展開。
特活) やお市民活動 ネットワーク	八尾市	伊藤 保	八尾市内の市民活動団体間のネットワーク形成により、よりよい市民社会の形成をめざしている。
特活) 友・遊	寝屋川市	谷美代子	高齢者の自立支援のため、デイサービス、配食サービス、ふれあいサロンなどを実施する。
龍谷大学ボランティア・ NPO活動センター	京都市	松島泰勝	ボランティアやNPOに興味のある学生への情報提供や活動相談、ボランティアを探している団体からの相談、学生・教職員等へのボランティア啓発等。
特活) ワークレッシュ	大阪狭山市	和久貴子	子ども・子育て支援に関する地域住民のニーズに対応するため、子どものコミュニティ・スペース(保育所)放課後児童会(学童保育)の運営等を行う。

2009年度をもって退会した団体は1団体：「フリーランス」

(2) 支援者の開拓と信頼のおけるNPOとのコーディネーション

市民や企業、労働組合より寄贈品や寄付金の申し出があった場合、NPOの取り組む事業や運営に有効に活用できるものについては協会がコーディネーションを行っている。これまで協会が「企業市民活動推進センター」を通じて連携してきた企業や労働組合からの寄付・寄贈の相談も多い。寄付・寄贈者の意思を尊重しながら、主にパートナー登録団体を対象に仲介している。

①「寄贈品仲介プロジェクト」(寄贈品のコーディネーション)

2010年度の寄贈品仲介実績は6件(昨年度6件)であった。(カレンダー寄贈除く)

寄贈者・社(所在地)	寄贈品の内容など	寄贈先団体数	時期
有限会社三協ビジネス (大阪市)	エンピツ 300本	アジア子供支援フジワーク基金を通じて インドNGOへ	2010年7月
東京海上日動健康保険組合 (東京都千代田区)	保養所施設備品(62点)	1団体	2010年8月
住友生命社会福祉事業団 (大阪市)	クラシックコンサートチケット 100人分	10団体	2010年8月
大阪保険サービス株式会社 (大阪市)	中古事務所什器備品(事務機・椅子、 会議用テーブル・椅子)4種19点	4団体	2010年10月
明治製菓株式会社(日本NPOセ ンターを通じて) (東京都)	製菓20万円相当(4団体分)	4団体	2010年10月

上野 博氏 (協会会員) (茨木市)	メモ用紙 (8,000 枚) 他	ONP 内配布	2011年 3月
-----------------------	------------------	---------	----------

カレンダー寄贈 (大同生命、かんでんエルハート、住友ゴム、サントリーロジスティック、ダイワハウスから) 多数

②「寄付金仲介プロジェクト」(寄付金のコーディネート)

日本NPOセンターを介し「あいおいニッセイ同和損保 (旧社名: あいおい損保) 寄付」の寄付先候補団体として、地域環境保全に取り組む3団体 (パートナー登録団体2団体、関係団体1団体) を推薦。3団体内定

③ 助成金および賞への推薦協力 (個人・団体の推薦)

- ・大阪商工信用金庫社会福祉賞 … パートナー登録団体3団体、ONP入居団体1団体を推薦
社会福祉受賞2団体(各100万円)
- ・住友ゴムCSR基金助成推薦 … パートナー登録団体3団体、関係団体1団体推薦
3団体助成 (新規1団体、継続2団体) (各約30万円)

④ 助成金などの審査委員派遣

以下の助成金等の審査委員 (17件) に職員を派遣し、市民活動団体への助成審査などの支援をした。

- ・「大阪市市民活動推進基金運営委員会」(大阪市。水谷)
- ・「大阪市市民活動推進基金区役所市民協働型事業」(大阪市。早瀬)
- ・「大阪市民間活力導入プロジェクト審査委員会」(大阪市。水谷)
- ・「吹田市市民公益活動促進補助金」(吹田市。早瀬)
- ・「枚方市産業活性化支援補助金交付対象事業選定委員会」(枚方市。永井)
- ・「大東市提案公募型委託事業」(大東市。岡村)
- ・「奈良市コミュニティビジネス検討委員会」(奈良市。岡村)
- ・「サラリーマン(ウーマン) ボランティア活動助成」((財)大同生命厚生事業団。早瀬)
- ・「シニアボランティア活動助成」((財)大同生命厚生事業団。早瀬)
- ・「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」((財)広げよう愛の輪運動基金。早瀬)
- ・「積水ハウスマッチングプログラム事業理事会」(積水ハウス。水谷)
- ・「ファイザープログラム〜心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援・2010年度新規助成・継続助成」(ファイザー。永井)
- ・「関西グリーン電力基金」(同運営委員会。早瀬)
- ・「京都地域創造基金助成褒賞選考委員会」(京都地域創造基金。水谷)
- ・「共生・地域文化大賞」(浄土宗・早瀬)
- ・「真如苑・社会貢献アドバイザー委員会」(真如苑。早瀬)
- ・「Shinjoプロジェクト・市民活動公募助成」(真如苑。早瀬) など

3. NPOの情報提供事業

(1) メールマガジン「NPOぼいす」の発行

メールマガジン「NPOぼいす」では、市民活動総合情報誌『ウォロ (VoLo)』に掲載中の「ぼいす&シャウト!」を中心に、協会実施の研修や『ウォロ (VoLo)』最新号のお知らせ、大阪ボランティア協会や大阪NPOプラザの情報などを掲載している。2010年7月より『「ボランティアスタイル」の挑戦〜企画運営の工夫と舞台裏』を新設した。2011年3月・第98号発行時の登録配信数は1,232件 (昨年度比160件増) である。

(2) 「大阪NPO情報ネット (http://www.onp.or.jp/)」の企画・運営 [一部、大阪府府民文化部、大阪市民政局受託]

大阪府内のNPOに関する総合的な情報を分かりやすく提供するホームページとして、2006年2月に開設。大阪府内のNPO・市民活動団体の検索や、NPOのためのセミナー情報、行政のNPO支援施策や支援制度の案内、NPO法人の設立・運営情報、大阪NPOプラザの利用方法などを掲載している。

大阪府認証のNPO法人の定款や事業報告書などをインターネット上で閲覧できるとともに、任意団体を含むNPO・市民活動団体は個別の



団体情報を掲載できる。2010年には一部市町村へのNPO法人認証等の権限移譲に伴ない、法人設立及び運営に関するFAQのリニューアルを行なった。

(内容の概要)「大阪府内NPO・市民活動団体検索」「NPOのためのイベント・セミナー情報」「NPOのための助成金&自治体施策情報」「大阪府NPO法人認証関連情報」「大阪NPOプラザについて」などで構成。

(アクセス頻度など)2010年度の訪問数は42,510件(昨年度比4,032件増)、ページビュー248,993件(昨年度比45,939件増)。1日に約116件の訪問者がある。約2,860団体の団体情報を掲載。

4. 自治体のNPO関連施策・協働推進支援事業

(1) 自治体の市民活動促進策定支援事業

2010年度も大阪府内の各自治体などの委託や委員委嘱を受け、自治体の市民活動促進施策の作成支援事業に精力的に取り組んだ。自治体の政策策定支援に関わった主な取り組みは以下のとおりである。

① 大 阪 市 : 「市民活動推進審議会」への会長代理派遣とワーキングへのアドバイザー派遣

会長代理(早瀬)を派遣。「協働指針ワーキング」のリーダーにも就任し、具体的な指針作りに協力。また「市民活動推進のための拠点のあり方検討ワーキング」にはアドバイザー(水谷)を派遣した。その結果、提言「市民活動推進拠点のあり方の基本的考え方」をまとめ、また「市民活動協働指針【実践編】」を答申した。

② 吹 田 市 : 「市民公益活動審議会」の会長派遣

会長(早瀬)を派遣。2010年度は、市民公益活動補助金の助成報告会の運営、補助金募集要綱の確認、応募事業の審査、市民活動推進拠点のあり方などについて審議を行った。

③ 箕 面 市 : 「非営利公益市民活動促進委員会」への委員派遣

箕面市の非営利公益市民活動の促進に関し、意見等について調査審議するための審議会に、委員(永井)を派遣。2010年度は、「協働フロンティア事業(企画提案型協働事業)」の今後のあり方について審議するとともに、箕面市におけるNPO施策の現状と課題の共有、および「みのお市民活動支援金制度構築委員会」の提言を受けて意見交換を行った。

④ 豊 中 市 : 「千里文化センター市民運営会議」への委員派遣

千里文化センター(コラボ)のあり方や事業の方向性を検討するための市民運営会議に、ファシリテーターとして委員(永井)を派遣。2010年度は、2009年11月に結成された「千里文化センターコラボひろば及び屋上庭園事業実行委員会」が実施した事業について評価を行うとともに、施設間連携事業のあり方や2011年度の担い手について検討した。

⑤ 和 泉 市 : 「市民活動支援制度判定会」の委員就任

住民税の1%相当額を市民活動に助成する「あなたが選ぶ市民活動支援事業」の判定会委員(早瀬)を派遣した。

⑥ 奈 良 市 : 「市民公益活動推進会議」の委員就任

市民参画と協働による市民公益活動を推進し、また、市民公益活動を支援する「1%支援制度」について検討する会議に、委員(水谷)を派遣した。

⑦ 奈 良 市 : 「奈良市コミュニティビジネス検討委員会」の委員就任【新規】

奈良市のコミュニティビジネス推進施策について検討する会議に、委員(岡村)を派遣。2010年度は、コミュニティビジネスの定義、事業者の調査設計などについて検討した。

⑧ 長 岡 市 (新潟県) : 「市民協働条例検討委員会」への委員派遣

長岡市での市民協働条例作成にあたり、委員(早瀬)を派遣し、市民ワークショップに助言者として参加するとともに、推進拠点、助成事業などの条例の内容について助言を行った。

(2) NPOと自治体の協働・連携支援事業

以下の委員会等(2件)に職員を派遣し、NPOと自治体との協働連携施策を支援した。

- ・「大阪市福祉人材養成確保推進事業施策検討委員会」(大阪市。水谷)
- ・「大阪市事業仕分け」(大阪市。水谷)

(3) 全国の自治体での「市民活動と行政の協働に関する職員研修会」への講師派遣

以上の他、市民活動と行政職員との協働に関する職員研修会に講師を派遣している。2010年度は全国の自治体や職員研修機関から45件(2009年度は48件)の要請に応えた。

5. NPO推進機関への支援とネットワーク推進事業

(1) 「関西NPO支援センターネットワーク(KNN)」の運営

関西圏のNPO支援センターが集い、ネットワークならではの強みを生かして検証作業や課題解決をめざすネットワーク組織として2005年に発足。10年度は研究会を3回開催し、4つのテーマでゼミを行った。

①. KNN研究会

第16回 2010年9月13日(月)

- ・場所：ひらかたNPOセンター
- ・参加者：27人(14団体)
- ・内容：NPO法人会計基準勉強会、「拠点訪問&ケーススタディ(ひらかた市民活動支援センター)」など

第17回 2010年11月25日(木)

- ・場所：和歌山県NPOサポートセンター、わかやまNPOセンター他
- ・参加者：13人(10団体)
- ・内容：「拠点訪問&ケーススタディ(わかやまNPOセンター)」など

第18回 2011年1月25日(火)

- ・場所：堺市市民活動コーナーなど
- ・参加者：29人(15団体)
- ・内容：「拠点訪問&ケーススタディ(SEIN)」、「2011年度のKNNの進め方」など

②. KNNゼミ

- 「協働ゼミ」 8団体 9人、2回開催、※昨年度からの継続
- 「自治ゼミ」 10団体 10人、7回開催、※昨年度からの継続
- 「講座力ゼミ」 5団体 7人、7回開催、※昨年度からの継続
- 「社協連携ゼミ」 6団体 10人、2回開催

■構成団体(2府3県26団体)※地域>団体名の五十音順に掲載

【大阪】特活)いくの市民活動支援センター、池田市公益活動促進協議会、特活)いばらき市民活動推進ネット、特活)おおさか元気ネットワーク、大阪狭山市民活動支援センター、社福)大阪ボランティア協会、特活)かわちながの市民公益活動推進委員会、特活)コミュニティ・エンパワーメント東大阪(CE東大阪)、特活)SEIN、特活)市民活動フォーラムみのお、特活)すいた市民活動を活発にする会、特活)たかつき市民活動ネットワーク、高槻市市民公益活動サポートセンター、特活)とよなか市民活動ネットきずな、寝屋川市立市民活動センター、特活)ひらかた市民活動支援センター、街づくり夢基金、特活)やお市民活動ネットワーク 【兵庫】特活)あしやNPOセンター、NPO会計支援センター、特活)しみん基金・KOBÉ、特活)市民事務局かわにし、特活)宝塚NPOセンター 【京都】特活)長岡京市民活動サポートセンター 【滋賀】特活)市民がささえる市民活動ネットワーク滋賀(NPO市民熱人) 【和歌山】特活)わかやまNPOセンター

(2) 全国レベルでの市民活動推進機関との連携

① 「日本NPOセンター」の副代表理事就任

協会常務理事(早瀬)が副代表理事に就任し、総会、3役会、理事会、評議員会、合宿などに出席するなどして、運営に協力した。

② 「日本ファンドレイジング協会」の理事就任

協会常務理事(早瀬)が理事に就任し、総会、理事会などに出席するなどして、運営に協力した。

(3) 地域の市民活動推進機関の自立的運営への援助と協力

① 「北河内ボランティアセンター」の活動に対する援助と協力

2010年度も、A. 理事に就任、B. 事務局運営経費の助成、C. その他、パナソニック労組などとの協力関係支援などを通じて、事業をサポートした。

②「おおさか行動する障害者応援センター」の活動に対する援助と協力

2010年度も、A. 理事・監事に就任、B. 活動援助費の助成（7月分迄で助成終了）を進めた。

(4) 各種ネットワークへの参加**①「近畿圏NPO支援センター連絡会議」(事務局：近畿労働金庫)への参加**

近畿労働金庫を事務局に近畿地区の民間NPO支援センターの情報交換と近畿労働金庫のNPO支援事業に対する意見交換の場として開催。2010年度は9月17日に近畿労働金庫で開催。早瀬、水谷が出席した。

②「近畿ソーシャルビジネス・ネットワーキング」(事務局：大阪NPOセンター)への参加

近畿地域の自治体・事業者・支援機関・金融機関・教育機関等と広域的ネットワークを構築し、地域課題の解決と新たなソーシャルビジネス/コミュニティビジネス事業創出による経済活性化を目的として08年度に設立。2010年度は、メーリングリストのみに参加した。

③「大阪府社会起業家中間支援組織連絡会」(事務局：おおさか元気ネットワーク)への参加

大阪府社会起業家ファンド推薦機関登録団体で構成され、ファンド助成団体への支援や社会起業家フォーラムを開催するために09年度に設置。2010年度は、永井が連絡会に参加した。

④ 組織の社会的責任推進に関わるNPO関係者ネットワークの構築 (5章で報告)**6. NPOの税・法制度改革や会計基準策定に対する取り組み**

全国の市民活動支援組織で結成する「NPO/NGO税・法人制度改革連絡会」や「NPO法人会計基準策定プロジェクト」の世話団体として、下記の点を中心に各種改革推進をはかった。

(1)「NPO/NGO税法人制度改革連絡会」への参画

当協会も世話団体として参加している上記連絡会では、連絡会総会（2010年5月28日）で、NPO法と認定NPO法人制度の改正などに関する状況を確認し、参院選を前に連絡会として認定NPO法人制度の改正などに関する要望書をまとめ、6月中下旬に各党にマニフェスト向け要望書を手渡した。こうした運動と、鳩山前首相の「新しい公共」政策により、認定NPO法人の認定基準である日本版パブリックサポートテストへの絶対値基準や税額控除の導入など、政府はNPO税制に関する抜本的な改革案をまとめることになった。ただし衆参で多数派が異なる国会では野党対策も重要で、12月1日に再興したNPO議員連盟とも連携しながら、改革の実現に向けた取り組みを進めた。

(2)「NPO法人会計基準策定プロジェクト」への参画

NPO法人会計基準策定プロジェクトは、NPO法人会計基準協議会（事務局：シーズ、NPO会計税務専門家ネットワーク）を立ち上げ、NPO法人に有効な会計基準づくりを進めるもの。7月20日に基準を確定し、報告書を発表。その後、普及推進に努めている。